

吉坊 ゆらり出



よるぼし
弱法師



主催 公益財団法人 有斐斎弘道館

二〇一七年

二月十一日【土】

十八時半開演（十八時開場・呈茶）

春の彼岸の天王寺。風の便りの飛び梅に、別れた息子が現れる。父の情か母の愛か。上方落語には珍しい、人情噺の一席です。

番組 呈茶 テーマに合わせて特別につくれる菓子をお楽しみください

落語 桂吉坊による「弱法師」

トーク 落語「弱法師」と芝居「撰州合邦辻」をテーマに桂吉坊とゲスト木ノ下裕一が語りつくす

会費 三五〇〇円（茶菓子代込）

会場 有斐斎弘道館

京都市上京区上長者町通新町東入ル
元土御門町五二四・一

申込 〇七五・四四一・六六六二
kouza@kodo-kan.com

桂吉坊 かつらきちぼう

一九八一年兵庫県生まれ。一九九九年、桂吉朝に入門。二〇〇〇年より3年間、桂次朝のもとで内弟子修業。以後、古典落語を中心に舞台を重なる。二〇〇七年には「地獄八景 浮世百景」で役者としてもデビュー。二〇一一年、映くや「花賞大衆芸能部門」受賞。

木ノ下裕一 きのしたゆういち
一九八五年和歌山市生まれ。小学校三年生の時、上方落語を聞き衝撃を受けると同時に弟で落語を始め、その後現代の舞台芸術も学び古典演目上演の演出や監修を自らが行う木ノ下歌舞伎を旗揚げ。その他、古典芸能に関する執筆や講演など、多岐にわたって活躍中。